

令和7年度 第3回 八幡中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年1月29日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 八幡中学校 校長室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、鈴木 芳次、石川 公子、杉山 貴子、江本 和真、高橋 脩夫、鈴木 政志（学校支援コーディネーター）、松下さくら、
- 4 欠席委員 杉山 晴康
- 5 その他出席者 佐藤 拓男（オブザーバー）
- 6 学 校 青島 正和（校長）、松島 賢（教頭）、中村 里恵（教務主任・CS担当職員）、坪井（生徒指導主事）、原 知子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 なし
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 原 知子
- 10 議長の選出
教頭から小名木会長が推挙され、全員異議なくこれを承認した。
- 11 報 告
(1) 第2回学校運営協議会 会議録について
教頭から委員へ、前回会議の議事録についての確認が行われ、全員これを承認した。
- 12 熟 議 事 項
(1) 学校関係者評価について
・2学期の学校評価について
(2) 来年度の学校運営基本方針について
・ランドデザイン
・学校経営構想
・年間計画
・いじめ防止基本方針
(3) 学校運営協議会の自己評価について

13 会議記録

教頭から、委員総数 8 名全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

教務主任から令和 7 年度の学校評価（2 学期実施）について説明された。

生徒の結果を見ると、ほとんどの項目で 8 割以上の生徒が肯定的な回答をしており、日々頑張っていることが伺える。また、学校生活において、ルールを守り、思いやりを持って、優しい言葉、態度をとれる生徒が多く見受けられ、これが、学校、学級で楽しく過ごしている理由ではないかと思う。

分かりやすく楽しい授業であるかの項目では、『そう思う』と回答した生徒が前年度と比較し増えており、良い雰囲気教育活動ができているのではと感じる。増加した理由としては、授業の初めに目標を黒板に書き、生徒に認識させること、年度の初めに校長が示した『対話』を職員が意識していたことなどが考えられる。授業でも生徒のリアクションが良く、授業をやっている教員側も、とても楽しいと感じている。

学校の先生に相談しやすいかの項目でも、『そう思う』と回答した生徒が前年度より増えており、これは、教員が一人一人をよく観察して声を掛けるように努力し、それが反映された結果だと思う。

何事にも我慢強く取り組んでいるかの質問は、『そう思う』が微増しているが、『そう思わない』も増えている。昨今我慢を必要とする機会が減ってきているのではとも考えられる。

地域活動やボランティアの項目では、あまり積極的に取り組めていないことがわかる。今年度は生徒昇降口に掲示板を作ってみたが、結果に結びついていかなかった。掲示、生徒への周知に工夫が必要だと感じる。

情報機器に関する項目では、ルールを守って正しく使っているかの問いに、生徒は 90%以上が正しく使えているという認識であるが、保護者は 60%以下であり、認識の差が見受けられる。

(2) 来年度の学校運営基本方針について

校長から令和 8 年度の学校運営基本方針について、教務から令和 8 年度年間計画について、生活指導主事からいじめ防止基本方針が説明された。

・ランドデザイン

来年度の教育目標は、この協議会でも熟議されている自己肯定感を高めるために、まず自分を知ることから『受容』、自分のことを知る事で、対話を通して対話で繋げる『共生』、意欲を含め、いろいろなことを作り上げて挑戦する『創造』とした。

また、創立 80 周年を迎えるにあたり、生徒たちには 80 年の歴史を伝えていきたい。

・学校経営構想

これからの時代は BANI = Brittle（もろく）Anxious（不安な）Non-Linear（非線形の）Incomprehensible（不可解な）と言われている。そんな社会を生きていくために、しなやかに立ち直る力をつけていきたい。

今後生徒のタブレットにもAIが導入されていく。これから、AIを使わずに生活できない時代に向かっていくため、AIとの共生を図っていききたい。

また、教職員、生徒共に、ウェルビーイング向上を目指し、自分らしく幸せに生きていく力を考えていきたい。

・年間計画

教職員の働き方改革、生徒の負担を考えた始業式当日と翌日を午前日課とする『ゆるスタ（ゆるやかにスタート）』を導入予定。

本年度の学芸発表会は二日間開催だったが、来年度は一日での開催で検討中。

・いじめ防止基本方針

本年度の様子から、本校の課題は対人スキルであると考えます。したがって来年度は、グループエンカウンターやショートプログラム、小鳩タイムを実施し、会話を通してコミュニケーションのクリアアップ、自己肯定感の土台である自己受容を重視した活動を行っていく。

説明に基づき以下の発言があった。

・働き方改革は進んでいると思うが、部活動の地域移行が進んでいない。地域として何が出来るのか・・・。（鈴木芳次委員）

・部活動地域移行の結論がでていない。中途半端な感じを受ける。（小名木会長）

・スポーツや音楽に触れる機会が減り、健全な子供が育つのか、そのまま人間の基盤が無く大人になるのではないかと心配。スポーツや音楽に触れ、継続していく事で人生が豊かになったりする。（石川委員）

・保護者の意見で朝読書についてあるが、読み聞かせの中で本の紹介もすることができる。生徒、先生からの要望を聞き、必要に応じて検討していきたい。（石川委員）

➡ 八幡中は来年度9月から、土日の部活動は行わない方針ではあるが、生徒からの要望があれば、地域の方と協力しながら、指導者や代表者を決めていくことを考えている。（青島校長）

(3) 学校運営協議会の自己評価について

教頭から、各委員から提出された自己評価について、次の意見をいただいたことを報告した。また、来年度の目標は第一回の協議会で決定することとし、小名木会長からも了解いただいた。

・基本方針は理解できたが、具体的に進める事ができなかった。

・学校と地域との連携促進を実感する一年だった。

・学校、家庭の役割がはっきりしない部分もあるが、地域自治会とのつながりも大事だと熟議することができた。

・協議内容の共有は行ったが、学校運営協議会そのものの認知が保護者の間で十分に広がっているとは言えず、情報発信の在り方に課題が残った。

14 オブザーバーより

冬まつり、二十歳の集いでは、八幡中学校の生徒や卒業生に参加いただき、熱い触れ合いができた。クリエイトにも作品の掲示などご協力もあり、大変ありがとうございました。

15 連絡事項

(1) 令和8年度学校運営協議会委員推薦候補者について

高木委員が退任されたため、新たな委員候補を静岡文化芸術大学と調整している旨の報告があった。

第一回協議会で承認された通り、江本委員が退任、松下委員はPTA顧問として委員継続、来年度PTA会長を新たに委員として迎える事を確認した。

(2) 校舎改築事業について

校長から、校舎改築事業について報告がされた。

- ・工事は来年度秋から開始の予定である。
- ・新校舎は現在のグラウンドに建てられ、完成後旧校舎の取り壊しとなる。
- ・グラウンドが使用できなくなるため、スポーツ祭を四ツ池公園、部活動は小学校や地域の施設で行うことを検討している。

報告に基づき、小名木会長から以下の発言があった。

- ・地域としても各所へ建て替えの要望を出していた。
- ・曳馬地区の河川氾濫の備えとして、校舎の嵩上げを要望してきた。
- ・新校舎では発達学級の教室を中心に配置し、地域を含めたみんなで見守っていくことができたらよい。
- ・5月以降、地域への説明会を検討している。

(3) 来年度の予定

来年度の予定を報告する中で、委員から開始時間変更の要望があり、来年度は14:00~16:00での開催とし、全員これを承認した。

以 上